

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第37週（令和7年9月8日～令和7年9月14日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・9月24日～9月30日は、「結核・呼吸器感染症予防週間」です。
- ・結核は、結核菌という細菌による感染症です。現在でも、全国で毎年10,000人以上の新しい患者が発生し、1,400人以上が亡くなっています。結核の症状（咳や発熱等の風邪に似た症状）は、特徴的なものがないため、特に高齢者では気づかないうちに進行することがあります。咳やたんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
- ・呼吸器感染症には、新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザ、RSウイルス感染症、百日咳、マイコプラズマ肺炎等があります。呼吸器感染症の多くは、感染した人の咳やくしゃみ等の飛沫に含まれる病原体を吸い込むことにより感染拡大しますので、適切なマスク着用を含む咳エチケット、手洗い・手指消毒、換気など基本的な感染対策を心がけましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	16	538	233	9,725
腸管出血性大腸菌感染症	18	200	156	2,610
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1	5	3	152
レジオネラ症	1	49	44	1,584
アメーバ赤痢	1	16	13	317
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	60	15	888
急性脳炎	1	25	5	374
梅毒	13	529	197	9,631
百日咳	56	2,794	1,921	74,724

■ 定点把握疾患報告数

警報レベル（※）

注意報レベル（※）

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	1,116	9.15	0.98	31,329	8.12
インフルエンザ	281	2.30	1.92	1,949	0.50
急性呼吸器感染症	6,829	55.98	1.11	207,429	53.92
RSウイルス感染症	220	3.14	0.66	3,896	1.66
咽頭結膜熱	44	0.63	0.90	736	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	202	2.89	0.92	4,109	1.75
感染性胃腸炎	354	5.06	0.88	10,963	4.66
水痘	21	0.30	1.50	509	0.22
手足口病	30	0.43	0.79	1,337	0.57
伝染性紅斑（警報レベル）	191	2.73	0.70	4,323	1.84
突発性発しん	39	0.56	1.39	816	0.35
ヘルパンギーナ	9	0.13	1.29	2,464	1.05
流行性耳下腺炎	1	0.01	0.33	88	0.04
急性出血性結膜炎	1	0.04	1.00	10	0.01
流行性角結膜炎	32	1.23	0.94	761	1.09
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	12	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	29	0.06
マイコプラズマ肺炎	14	0.93	2.00	467	0.97
クラミジア肺炎	0	0.00	-	5	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	1	0.00

（※）令和7年第15週からの定点医療機関の減少等に伴い、従前の警報及び注意報の基準値を直ちに当てはめることはできません。そのため、国が警報及び注意報の取扱いを検討することとしています。取扱いが示されるまでの間、本県では従前の基準値で運用することとします。